



2018年8月29日
第4号

第68回 日本医学検査学会 実行委員会 発行
この新聞は2019年5月18～19日に下関で
開催される、第68回日本医学検査学会について
の情報発信を目的としています。

HP: <http://68jamt.com/> facebook: JAMT68

学会ロゴマーク

前号で紹介したポスターに違うロゴマークが入っていたのにお気づきでしたか？実は2つ案が出ていました。今回はそのご紹介です。



↑本学会のロゴ。

関門橋と巖流島の武蔵・小次郎像。本州と九州をつなぐ関門橋のように、本学会が検査技師の架け橋になるようにとの想いを込めている。



↑ボツになったロゴ。

上は各種検査で健康に寄与することを表わす。下は逆さの関門橋と下関の名所。色は山口県のオレンジと関門海峡をイメージした青。

また、盗作かの判断ができなかったため、公募されませんでした。まだ東京五輪ロゴ盗作問題の記憶が新しい頃の話です。描きたかったという方はご一報を。何か次の機会にお願いいたします。

あのひとに聞く！ (渋田学会長編)

実行委員の一人にスポットを当て、その人なりに迫るコーナー。

今回は渋田学会長のインタビュー第2弾！
安「ヤンチャしてた時代があったそうですが。」
渋「予備校時代に悪い友達と知り合ってたね。朝ゲーセンに集合して、10時になったらパチンコに行って、夕方から飲み行く、とかね。」
安「真面目に変わったきっかけは何ですか。」

渋「大学に入って環境が変わって真面目にならなにかんと思つたし、一人暮らしを始めたときに親が泣いたのが衝撃的だね。引越し作業が終わって別れた後に車内で親父がワンワン泣いたって。兄貴は帰り際に『忘れものした』って言って一人で部屋に戻って置き手紙しとつてね。感動的やった。」

安「臨床検査技師を知ったのはお兄さんがきっかけだったそうですね。」

渋「ヤンチャしよつたから心配したんやろうね。医学部に行きよつた兄貴が、『細胞検査士はドクターにものを教えられる。目指してみんか？』

って。兄貴は昔から賢くて、俺は同じ中学校と高校の受験にも失敗して、兄貴が医学部に行き始めたら親戚中が兄貴、兄貴って凄くて。やからずっと劣等感があつたんやけど、細胞検査士になれば兄貴に勝てるかなって。」

安「でも、もともと夢があつたそうですね。」

渋「本当はパイロットになりたかつたんよ。もしくは飛行機の整備士。」

安「なぜ飛行機関係なんです？」

渋「なぜかパイロットになりましたかった。高校の時に付き合いよつた彼女がスチュワーデスになるって頑張りよつたからかね(笑)」

安「素敵な動機じゃないですか(笑)」

次号も…あのひとに聞く！

渋田学会会長編最終回！子どもといつまでも仲良くやっていくには？乞ご期待！

今号のひといつ

セミ。5年間も土中で地上は1週間だけ。生命のバトンを繋ごうと懸命に鳴くオス。何て健気！でも、簡単に捕まるんです。息子や友達が捕まえてたら、「セミはね、土の中に5年も…。」すぐ逃がしてくれませう。嫌な親父です。(安岡)